



南住吉小学校



(令和6年5月1日現在)

所在地	〒558-0041 住吉区南住吉3-5-1		
電話	06-6693-3941	FAX	06-6693-3672
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731667		
校長名	畠中 紹宏		
児童数	779名	教職員数	48名
学級数	30学級（うち特別支援学級8）	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

自他を大切に作る心、確かな学力、
健康な体を基盤とした
社会に貢献できる子を育成する。

めざす子ども像

- ①思いやりをもち、助け合える子
- ②自ら学び、最後までやりとげる子
- ③健康で、たくましい子
- ④目標に向かって、みんなで協力できる子

校長メッセージ

本校は住吉区のほぼ中央に位置し、区役所や図書館等が隣接していることもあり、教育環境に恵まれた学校です。今年で創立67年目を迎えます。保護者が本校の卒業生という家庭も多く、地域学習や登下校の見守り活動などで、地域の学校として皆様より多くのご支援を賜りながら日々の教育活動に取り組んでいます。

児童数は779名（令和6年5月現在）と大規模な学校です。「正しく・やさしく・みんなのために」を校訓とし、今年度から、「『ことば』を大切にし、うれしくなる『ことば』があふれる学校」をめざして、保護者・地域・教職員が協力しながら、その実現に向けた教育活動を推進しています。このような環境の中で、将来に向け、学力の定着をはかり、個性を尊重し合い、いじめを許さない集団を育成し、健康でたくましく生きる力を持った子どもを育てます。

学校協議会会長メッセージ

南住吉小学校区では、地域住民の皆さんが平成17年に、当時の児童が命名してくれた「パトレンジャー」と呼ばれる、子ども見守り隊を結成しています。地域住民の皆さんが、毎日の子どもの登下校の安全を守る活動を現在も続けてくれています。また、毎年夏に子どもたちが楽しみにしている「南住吉えーまちフェスタ」などの地域行事等も開催し、地域と保護者と学校が協力しながら子どもたちの健全育成に取り組んでいます。

学校協議会では、学校の取り組みについて説明いただく中で、地域や保護者の願いもお伝えしながら、南住吉小学校の子どもたちのためになる、よりよい学校運営に向けて協議を進めております。今後とも、子どもたちのために、地域、保護者、学校が協力できますようにご支援ください。

▶▶ 運営に関する計画

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 望ましい集団の育成に向けて、学年のまとまりを高める取り組みを学期に1回以上行う。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。
- 主幹学校司書と連携を強化し、授業での学校図書館利用を増やし、読書指導を進める。

きめ細やかな学習指導



全学年で始業前に「のびっこタイム」を設け、基礎基本の習得に向けたきめ細かな指導を行えるよう取り組んでいます。また、今年度も高学年の体育科に専科教員を置き、児童の運動能力や体力の向上と運動への興味関心を高められるよう取り組んでいます。さらに、学校図書館には、週4日司書が在室し、貸し出しやレファレンス、読み聞かせなどを行い、本に親しむ環境づくりに努めています。

教職員の資質向上



本校では、教職員の資質向上をめざし、校内研修の実施や学校外での研修会・研究会への参加など、自己研鑽に励んでいます。近年は、生活科・社会科を本校の研究教科とし、子どもたち一人一人が確かな学力を身につけられるよう研究を進めています。これらを通して、さまざまな手立てや指導法を学び、子どもたちの「できた!」の声が数多く聞けるように努めています。

▶▶ 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和5年度の小学6年生）

【平均正答率（%）】

国語	算数
66	62

国語科では平均正答率は全国・大阪市平均をやや下回るもののほぼ同じ水準であった。特に「情報に関する扱いの事項」においては、全国平均・大阪市平均ともに上回る結果となった。また「書くこと」の領域においては、正答率で各平均を下回る結果となった。

算数科では平均正答率は全国・大阪市平均と同じ水準となり、昨年度を大きく上回った。領域別の正答率をみると、「図形」「変化と関係」「データの活用」において全国平均を上回る結果となった。また、平均無回答率に関しても、全国平均より少ない結果となった。

▶▶ 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和5年度の小学5年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	14.61	16.51	31.87	34.57	41.41	9.03	137.65	18.73	48.32
女子	14.74	16.70	35.54	32.49	32.94	9.09	133.85	12.41	50.87

令和5年度は男女ともに50m走以外で市平均・全国平均を下回る結果となった。ただ、全体的に見て大きく下回る種目はなく、平均化したという部分で改善が見られた。また、令和4年度と比較して体力合計点を見ると、女子ではほぼ横ばいなのに対し、男子では2ポイントほど低くなっている。しかしながら、運動やスポーツをすることを好む児童は男子では97%、女子でも88%を超えている。また「体育の授業は楽しいですか」に対する肯定的意見も男女ともに95%を超えており、今後徐々に体力は上昇すると思われる。

今後取り組むべき課題は、運動能力の向上である。そのためには、運動が好きという気持を大切に、生涯体育につながる「自ら進んで運動に参加する」という内発的動機づけが重要であると考え。児童が楽しく学べる環境づくりとして、できる限り一人一人に合った場やルールを用意することやICT機器の活用、そして何よりも人と比べるのではなく、「できなかったことができるようになった」という成功体験を味わわせることを大切にしていきたい。

【P75に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】